

昭和大学鷺沼校地 新キャンパス整備計画の概要に関する説明会

令和5年8月8日（火）

学校法人 昭和大学

1

【計画概要のご説明】

1. 昭和大学の概要
2. 計画建物の概要
3. 整備方針
4. 周辺環境への影響
5. 今後のスケジュール

1. 昭和大学の概要

無断転載・写真撮影禁止

1. 昭和大学の概要

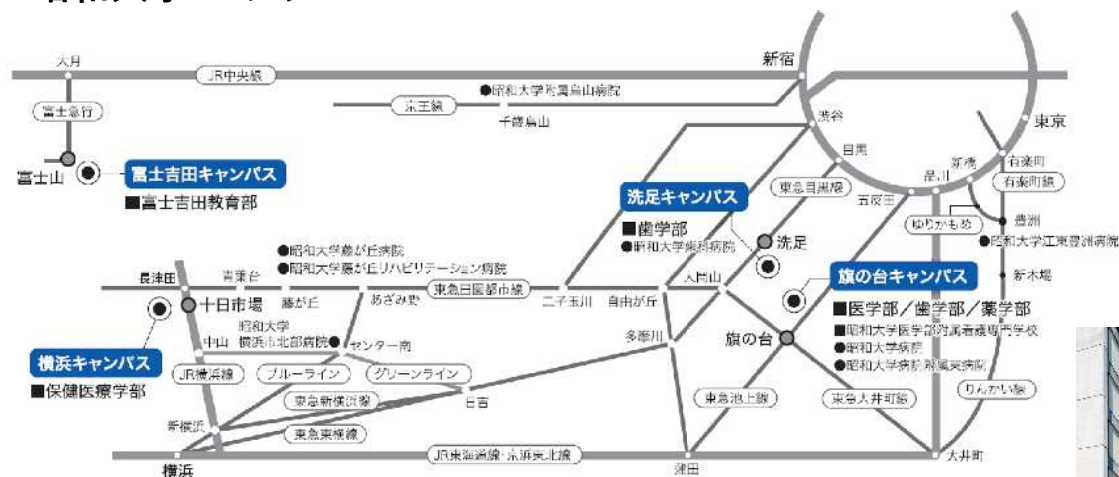
- 昭和3年（1928年）設立
 - 医・歯・薬・保健医療の4学部・8附属病院を擁する医系総合大学
- （令和5年5月1日現在）

	学部	学科	専攻	年制	人数
大学	医学部	医学科	—	6年制	746
	歯学部	歯学科	—	6年制	590
	薬学部	薬学科	—	6年制	1,181
	保健医療学部	看護学科	—	4年制	410
		リハビリテーション学科	理学療法学専攻		145
			作業療法学専攻		67
	合 計				
大学院	医学研究科	—	—	4年制	291
	歯学研究科	—	—	4年制	113
	薬学研究科	—	—	4年制	99
	保健医療学研究科	博士前期課程	—	2年制	39
		博士後期課程	—	3年制	28
	合 計				
専攻科	助産学専攻科	—	—	1年制	14
専門学校	看護専門学校	—	—	3年制	454
合 計					4,177

無断転載・写真撮影禁止

※記載の内容は、今後の行政協議や詳細検討により変更となる場合があります。

■昭和大学のキャンパス



旗の台キャンパス

- 医学部（2～6年次）
- 歯学部（2～4年次）
- 薬学部（2～6年次）



富士吉田キャンパス

- 全学部（1年次）



横浜キャンパス

- 保健医療学部（2～4年次）



洗足キャンパス

- 歯学部（5～6年次）

無断転載・写真撮影禁止

※記載の内容は、今後の行政協議や詳細検討により変更となる場合があります。

2. 計画建物の概要

無断転載・写真撮影禁止

■位置図



無断転載・写真撮影禁止

※記載の内容は、今後の行政協議や詳細検討により変更となる場合があります。

2. 計画建物の概要

■教育機能の導入として大学を設置

対象
学生

昭和大学の学生のうち

- ・医、歯、薬学部の2・3年次と4年次の一部
- ・保健医療学部の2～4年次
- ・助産学専攻科

学生数

約2,000人（想定）

■配置図



■計画概要

主要用途	教育施設 (大学)
敷地面積	約36,800 m ²
延べ面積	約36,800 m ²
容積率	約100%
建物階数	地上3階建
最高高さ	約10m
着工（予定）	令和6年度
竣工（予定）	令和8年度

無断転載・写真撮影禁止

※記載の内容は、今後の行政協議や詳細検討により変更となる場合があります。

■計画イメージ



無断転載・写真撮影禁止

※記載の内容は、今後の行政協議や詳細検討により変更となる場合があります。

3. 整備方針

無断転載・写真撮影禁止

■計画の目標

地域と共生するキャンパスづくり

1 鷺沼駅周辺の拠点性向上・宮前区全体の魅力向上に資する都市機能の導入

2 駅至近かつ住宅地内という立地性を考慮した、大学と地域の憩い・交流の場の創出

3 周囲の住環境に配慮した良好な都市景観の形成

4 防災機能の強化と環境負荷の低減

無断転載・写真撮影禁止

※記載の内容は、今後の行政協議や詳細検討により変更となる場合があります。

3. 整備方針

1 鷺沼駅周辺の拠点性向上・宮前区全体の魅力向上に資する都市機能の導入

■教育機能の導入

歴史と高い専門性を備えた
医系総合大学



公開講座等の開催による
市民の学習機会の創出



大学を通じた地域コミュニティ形成への貢献

■交流機能の導入

大学と地域の憩い・交流の場となる緑豊かな広場を整備する

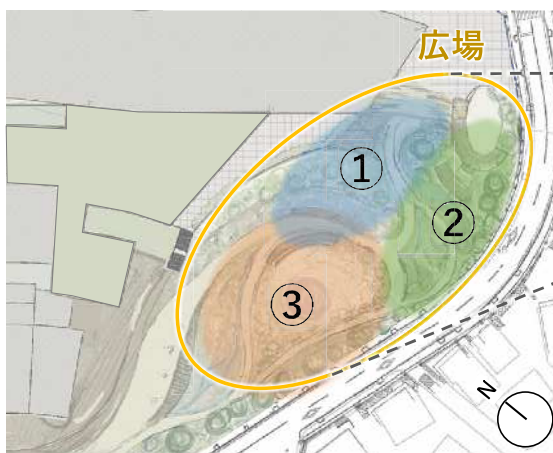
無断転載・写真撮影禁止

※記載の内容は、今後の行政協議や詳細検討により変更となる場合があります。

2 駅至近かつ住宅地内という立地性を考慮した、大学と地域の憩い・交流の場の創出

■自然体験を通じた学びや、日常的な憩い・交流の場となる広場の整備

①眺望を楽しむ憩いの場



②緑豊かな散策路



③明るいひらけた場



薄墨桜の移植検討



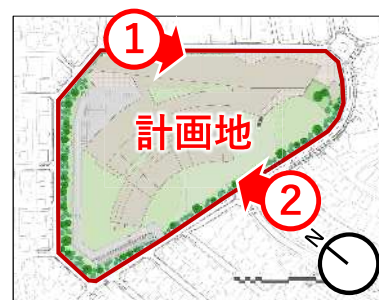
無断転載・写真撮影禁止

※記載の内容は、今後の行政協議や詳細検討により変更となる場合があります。

3 周囲の住環境に配慮した良好な都市景観の形成

■周辺地域に配慮した建物計画

- ・ 周辺建物の高さを踏まえた、低層の建物計画
- ・ 周囲に圧迫感を与えないよう配慮し、敷地境界から一定距離離れた建物配置



① 北東側の道路方面から敷地を望むイメージ



② 南側の道路方面から敷地を望むイメージ



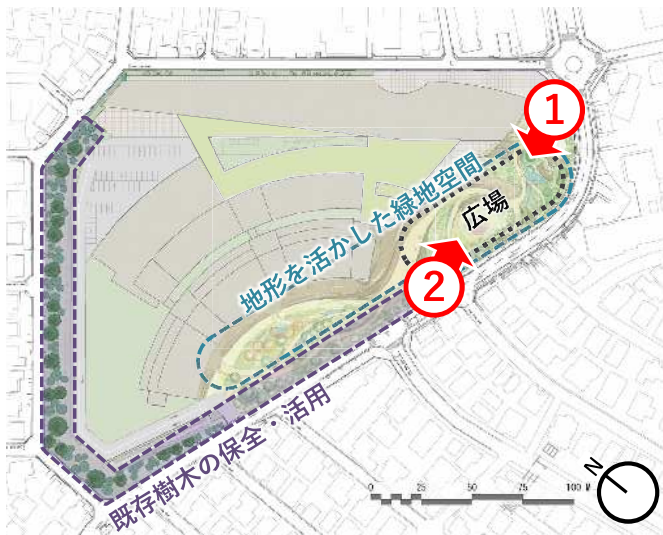
無断転載・写真撮影禁止

※記載の内容は、今後の行政協議や詳細検討により変更となる場合があります。

3 周囲の住環境に配慮した良好な都市景観の形成

■みどり豊かな緑化計画

- ・ 既存の樹木や地形を活かしたまとまりのある緑地空間を整備し、緑豊かな都市景観を形成



無断転載・写真撮影禁止

※記載の内容は、今後の行政協議や詳細検討により変更となる場合があります。

4 環境負荷の低減と防災機能の強化

■環境負荷の低減

- ・ 自然採光、自然通風等による省エネルギー化の促進
- ・ 木材活用の検討
- ・ 自然共生に寄与する緑化空間の整備



- ・ 環境認証（CASBEE川崎等）の取得

■防災機能の強化

- ・ 災害時対応に係る周辺との連携

例) 広場等、敷地の一部を一時的な避難スペースとして活用することを検討



無断転載・写真撮影禁止

※記載の内容は、今後の行政協議や詳細検討により変更となる場合があります。

4. 周辺環境への影響

無断転載・写真撮影禁止

4. 周辺環境への影響

17

■交通関連

☐ 歩行者

- ・敷地北東側に出入口を計画
- ・安全、円滑な交通を妨げない、周囲に配慮した通学を指導

☐ 車両

- ・敷地南西側に出入口を計画
- ・学生の自動車通学は不可

☐ 工事車両

- ・騒音、振動の発生などについて、十分に配慮した計画とする



-  主要な歩行者出入口
 主要な車両出入口

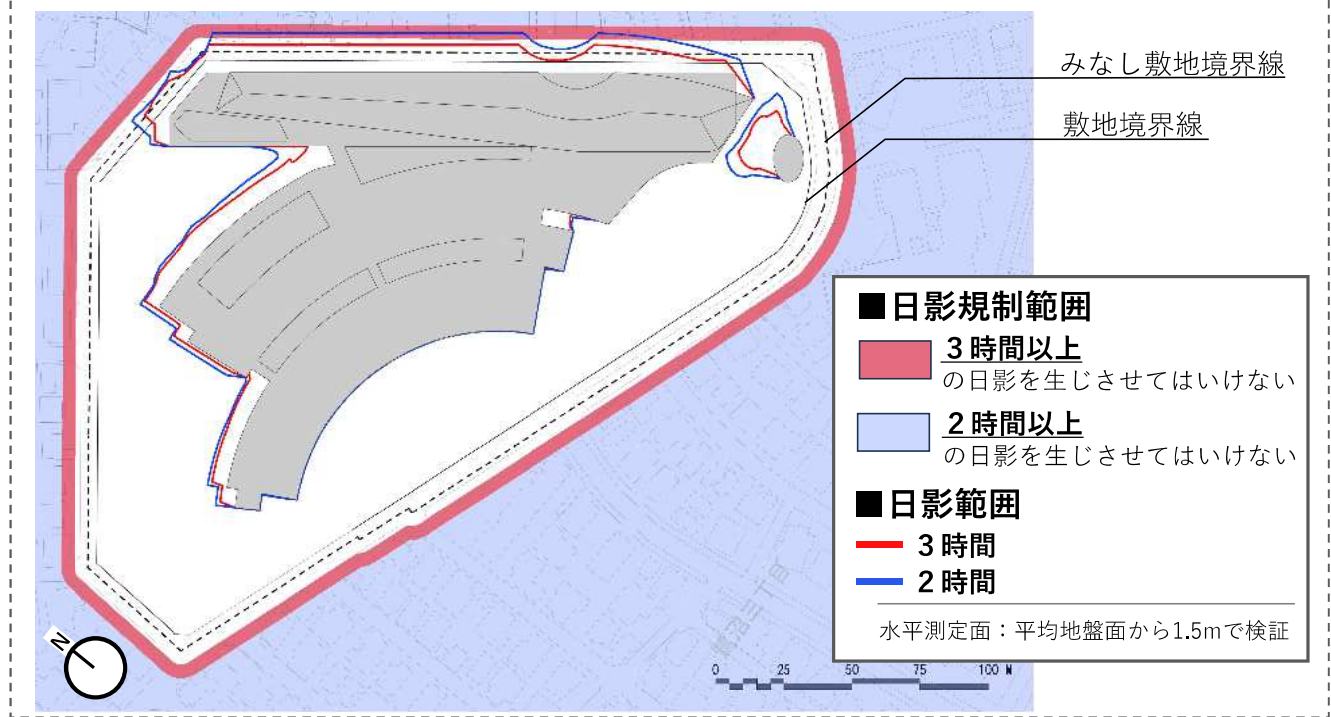
無断転載・写真撮影禁止

※記載の内容は、今後の行政協議や詳細検討により変更となる場合があります。

■日影関連

- ・「低層の建物計画」「敷地境界から一定距離離れた配置計画」により周囲へ配慮。
- ・建築基準法に基づく日影規制を満足する計画。

【参考】等時間日影図

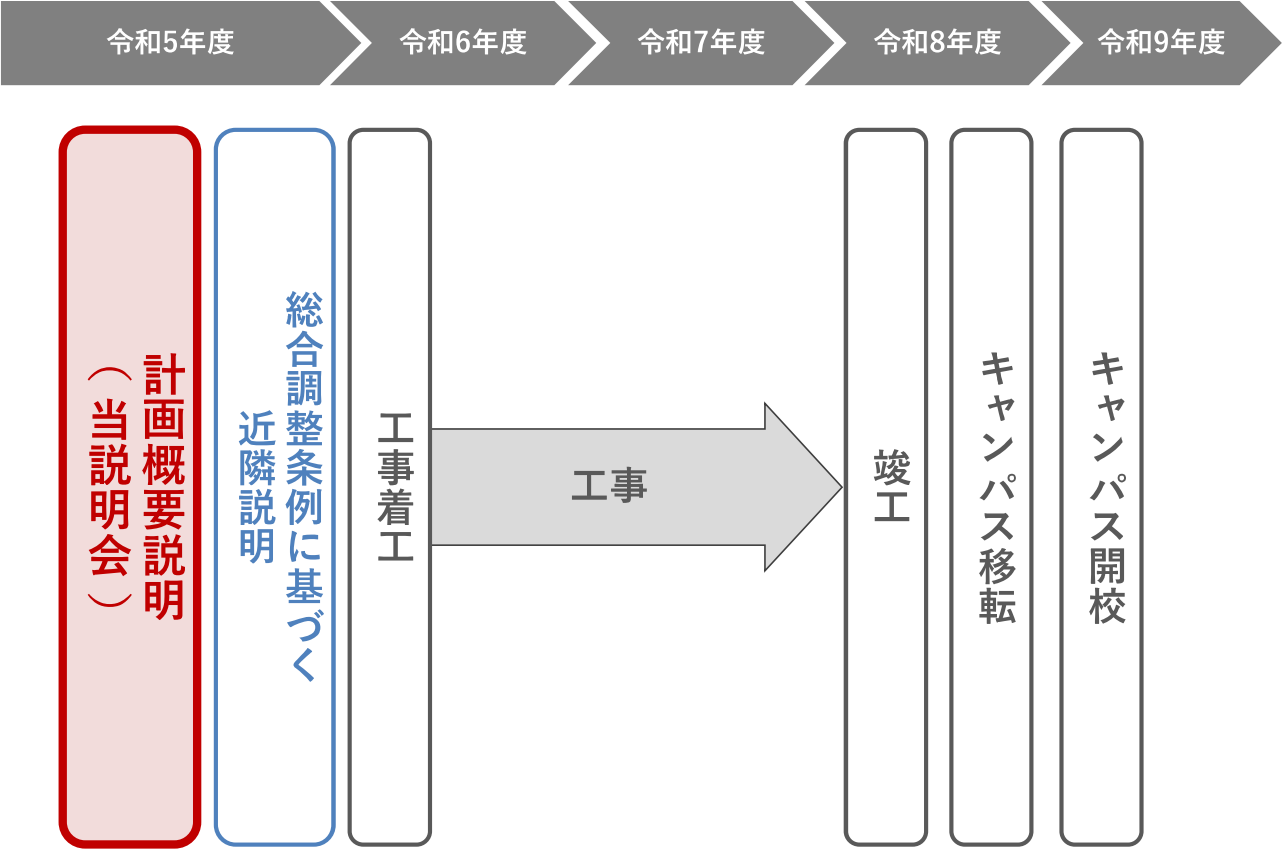


無断転載・写真撮影禁止

※記載の内容は、今後の行政協議や詳細検討により変更となる場合があります。

5. 今後のスケジュール

無断転載・写真撮影禁止



無断転載・写真撮影禁止

※記載の内容は、今後の行政協議や詳細検討により変更となる場合があります。